

第 7 回 総合計画策定審議会 議事要旨

会議名：第 7 回総合計画策定審議会

日時：2025 年 10 月 27 日（火）13:30～14:30

場所：吉野町中央公民館 第 3 研修室

参加者：出席者名簿の通り

欠席者：吉野町議会 下中委員、吉野中央森林組合 坂本委員、吉野町民生児童委員協議会 木谷委員、吉野町連合 PTA 中島委員、吉野町青少年問題協議会 里田委員、吉野町スポーツ推進委員 東平委員、無作為抽出委員 高野委員、無作為抽出委員 森口委員の計 8 名

代理出席者：吉野製材工業協同組合 武田氏

資料：・第 7 回総合計画策定審議会次第

・資料 1 パブリックコメント結果（序論・後期基本計画）

・資料 2 第 5 次吉野町総合計画序論案・後期基本計画案

・資料 3 パブリックコメントの実施概要（人口ビジョン・総合戦略）

・資料 4 吉野町人口ビジョン・第 3 期吉野町まち・ひと・しごと創生総合戦略案

【以下、協議内容】

1 開会

- 吉野町 町長公室 紙西補佐より開会の挨拶及び委員の出席者数の報告を行った。

2 議題（1）パブリックコメントの実施結果（序論・後期基本計画）

- 吉野町 町長公室 阪本補佐より「資料 1 パブリックコメント結果（序論・後期基本計画）」「資料 2 第 5 次吉野町総合計画序論案・後期基本計画案」に基づき、序論・後期基本計画案のパブリックコメントの実施結果について説明を行った。

【事務局】

「資料 1 パブリックコメント結果（序論・後期基本計画）」の意見等は原文で掲載しているが、個別の事案・特定個人に該当する意見部分は非公開としている。

【委員】

No1・2・29 以外の意見も後期計画に反映するか確認したい。

【事務局】

文字サイズやグラフのデザインに関する意見は計画冊子のデザイン化の際に反映することを予定している。

【会長】

パブリックコメント結果を公表する際、どの意見が後期計画に反映されたかわかるよう「町の考え」の記載を修正するか確認したい。

【事務局】

認識のとおりである。

【委員】

No19 の意見は、計画のどの記載内容に対する意見か確認したい。

【事務局】

施策 12「商工業の振興」の主な取組（２）「事業承継を促進します」に関する意見であり、伝統産業に偏った取組になっていないかという意見である。

【委員】

伝統産業は町にとって重要であり、後期計画の内容に違和感はない。伝統産業を維持しながら、新規事業を検討するのがよいと考えている。

2 議題（２）パブリックコメントの実施概要

- 吉野町 町長公室 阪本補佐より「資料 3 パブリックコメントの実施概要（人口ビジョン・総合戦略）」「資料 4 吉野町人口ビジョン・第 3 期吉野町まち・ひと・しごと創生総合戦略案」に基づき、パブリックコメントの実施概要について説明を行った。
- 会長より「パブリックコメントの実施概要」について、意見を募った。

【委員】

序論・後期基本計画のパブリックコメントは 8 名から意見の提出があったと説明があったが意見が少ないため、自治会長や区長と連携し、パブリックコメント実施の周知を図るのがよい。

【会長】

多くの町民から意見をいただくのがよいため、事務局で周知方法等を検討してほしい。

- 会長より「吉野町人口ビジョン・第 3 期吉野町まち・ひと・しごと創生総合戦略案」について、意見を募った。

【委員】

人口ビジョン「2.人口の将来展望」について、2045（R27）年の推計人口は 2,787 人、目標人口は 3,367 人となっているが、総合戦略の施策展開で、目標人口を達成することは難しいと考えている。空き家バンク成約件数の 2030 年の目標値は 20 件となっているが、審議会開催時点の今年度の実績値は 17 件であり、空き家は今後も増加する。寿命が延びた場合は、目標人口を達成できる可能性もあるが、若年層を増やすことは難しい。

【会長】

国は 2014 年から地方創生の取組を開始し、2014 年 12 月に閣議決定した「長期ビジョン」で、2040 年ごろの合計特殊出生率の目標値を 2.07 程度とし、首都圏の転出入を均衡にする目標を設定していたが、現在の合計特殊出生率は 2014 年と比較して低下し、新型コロナウイルス感染拡大期は東京一極集中が緩和したが、現在は加速している。

地方創生の取組を開始して以降、全国的に目標を達成できた地域は少ない状況である。直近で新たな総理大臣が選出されたことにより、地方創生 2.0 の取組が継続されるか不透明であるが、基本的な地方創生の方針は変更されないと考えており、吉野町の 2045（R27）年の推計人口である 2,787 人を少しでも改善できるような取組を展開してほしい。

【事務局】

目標人口の実現に向けて、個別具体的な取組に総合戦略の方針を反映していきたいと考えている。庁舎移転等で町の転換期にあると考えており、今後、町の方向性を見出していきたい。目標人口を設定することは当事者間の認識共有で重要であり、目標人口を達成することは容易ではないが、議会等で意見をいただきたい。

【委員】

第 2 期吉野町人口ビジョンの 2025（R7）年の目標人口を確認したい。

【事務局】

第 2 期吉野町人口ビジョンの 2025（R7）年の目標人口は 5,880 人であり、実績値は 5,834 人であることから、概ね目標通りに推移している。第 2 期吉野町人口ビジョンでは 0～4 歳人口を 100 人程度にすることを目標にしていたが、現在は目標を下回る 70 人程度であるため、第 3 期吉野町人口ビジョンでは 70 人の維持を目標にしている。

【委員】

国立社会保障・人口問題研究所の 2025（R7）年の推計値を確認したい。

【事務局】

第3期吉野町人口ビジョンのp.3に掲載しているとおり、5,316人である。

【委員】

今年度の吉野町の出生数は3名程度と聞いており、来年度はさらに出生率が下がると考えている。病院や習い事への不便さを理由に、近隣の市町村に引っ越す事例もある。子どもに体験型の経験を積ませたいと考える親も多いが、負担も大きい状況である。また、習い事や塾等に通わせたいと考えている親もいるが、送迎等で負担が大きいため、難しい場合もある。

川上村では、高齢者の村外転出を防ぐため、日本生活協同組合連合会（CO-OP）と連携し、戸別配達を通じて困りごとを聞く活動を実施している。また、高齢者の買い物をサポートするため、送迎等の支援を実施している。

吉野町では、高齢者の転出率が高いのか確認したい。

【事務局】

高齢者の転出率は把握していないが、高齢者が転出する主な理由として、高齢者施設への入所や自身の子どもや親族等の居住場所の近くに引っ越す場合が多い。

【委員】

高齢者も楽しく生涯を過ごすことができる町になるとよい。

【会長】

意見を踏まえ、今後の町の施策で検討してほしい。子育て世代の支援だけでなく、高齢者が住み続けることができる環境整備も重要である。

2 議題（3）その他

➤ 報告事項なし

3 閉会

➤ 吉野町 町長公室 紙西補佐より閉会の挨拶を行った。

以上